



アースウォッチ中部の会 第2回 研究者と一緒に語ろう！

日時：2011年11月4日（金） 18:30 から 20:00

場所：JICA 名古屋地球ひろば

今回は名古屋大学教授の夏原由博先生をスピーカーにお迎えしました。

大きく3つの題目に分けて研究者の視点からお話頂きました。

① 先生の今までの研究内容

夏原先生は海外にもご興味があり、今まではカザフスタンやラオス等にも行かれて研究されていたそうです。

② アースウォッチのプロジェクトにも入っている「琵琶湖周辺のカエル」の研究話

研究対象であるナゴヤダルマガエルとトノサマガエルの違いや、アースウォッチプロジェクトでの研究内容について体験談を交えてお話下さいました。ナゴヤダルマガエルはトノサマガエルと似ていますがジャンプ力が弱いのだそうです。

③ 先生がご専門のカシミサンショウウオの研究話

カシミサンショウウオの生息地域から、両生類の分類、関わる法律まで幅広い内容を教えて頂きました。カシミサンショウウオの年齢を推定する為には指の先を切って樹木に見られる年輪と同様な線（冬眠時に形成させる成長停止線）を数えるのだそうです。

沢山のスライドをご用意いただき、大変分かりやすくお話いただきました。

参加者の中には花王教員フォローシップに参加された学校の先生方も出席して下さい、カシミサンショウウオを飼育して水田、湿地に生きる生き物の大切さを子供たちに伝える教育の一環に出来ないかというアイデアがあがりました。

今回の参加者数は1回目よりも残念ながら少なかったですが、懇親会も含めて参加者と先生との沢山の意見交換ができました。皆様ご参加ありがとうございました。

次回の中部の会は2012年3月初旬を予定しています。詳細はまたメールマガジン等でご案内いたしますので、どうぞお楽しみに。

アースウォッチ事務局